

寒暖の差が激しい日々が続いていますが、春の訪れは早かった様です。石砂山のギフチョウは3月20日過ぎには発生し始めたようで、4月18日はカラスアゲハも飛んでいました。都区内でもアゲハチョウが見られ、エノキの新芽ではアカボシゴマダラが大きくなっています。(総務：田中和夫)

【4月例会】

日時：平成27年4月21日(火)(第3火曜日) 午後6:30~8:30

場所：吉祥寺、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室

第1部：本会会員の中谷貴壽さんの講演「世界のベニヒカゲ属 (*Erebia*) を求めて」

<講演要旨>

世界のベニヒカゲ属約90種のコンプリート・セットを目指して訪れた世界各地の旅。

収集に協力してくれた友人たちの紹介。現在あと1種まで迫っています。

第2部：外部講師の新津修平さんの講演「ハネを無くした蛾、翅を無くさなかった蛾のお話し」

<講演要旨>

第1話：フチグロトゲエダシャクの翅退化について

ダーウインの著作「種の起源」以来、進化学のテーマの一つである「痕跡器官(退化)の研究」は、古くから生物学者の興味を惹いてきた。冬季に成虫期をむかえる鱗翅目昆虫のフユシャクガ類では、寒さへの適応の結果、オス成虫では機能的な翅をもつが、メス成虫においては翅が消失し、性的二型による翅の退化化が見られることが知られている。

我々は、フユシャクガ類の一種であるフチグロトゲエダシャクをモデル材料とし、蛹期に観察されるメスの特異的な翅原基の退縮機構を解明することを目的とし、研究を進めている。本講演では、これまでに我々が明らかにした発生学的な知見と今後の展望について紹介する。

第2話：原始的な有翅型ミノガ類の多様性

鱗翅目昆虫ミノガ科は、原始的なヒロズコガ上科の中に属している比較的小さなグループの蛾類である。ミノガ科は世界では約1300種類、日本産は約40種類が記録されている。

ミノガ科内では、70%以上の種でメスの翅が退化・消失し、性的二型を示していることが知られている。その中でも、雌においても翅を持ち、原始的な特徴を保持していると言われている有翅型ミノガ類は、日本産で11種類が記録されている。今世紀に入り、杉本・三枝により数種類の有翅型ミノガ類が日本産の新種として記載されている。しかしながら、これらの分布・生活史・系統学的な亜種区分に関する知見は乏しい。本講演では、関東甲信越地域に分布している雌雄共に有翅型ミノガ類の、生活史、分布及び系統的な位置について発表者が最近得た知見について紹介する。

【以降の例会予定】 午後6:30~8:30、

5月19日(火)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

講演：前川峻氏「東京都中野区の絶滅前のツマグロキチョウについて他」

寺章夫氏「ウスバシロチョウの楽しみ方」

6月16日(火)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

講演：栗山定氏「あなたはもうご存じかしら？イナズマ類のちょっとした同定ポイント」

伊勢崎眞司氏「道北の蝶、層雲峡から枝幸蝶巡り」

7月18日(土)～19日(日)

夏合宿 立川市八ヶ岳山荘

7月25日(土)(第4土曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

講演：井上孝美氏「ヒサマツミドリシジミの全貌-その1-」

向井氏「カメムシがふるえるのには訳がある：愛を伝える振動コミュニケーション」

【連絡事項】

1. 「年次総会の件」

3月8日(日)午前9:30～10:30、武蔵野公会堂にて今年度の総会が行われました。

出席者51名、委任状61名、計112名、会員数の過半数84名を超え、総会は成立。

出席頂いた会員各位、委任状をお送り頂いた会員各位に、心から感謝申し上げます。

*総会にて、新年度の幹事体制案が承認されました。

2015年度～2016年度 グループ多摩虫幹事

代表 大野和美(新任)

副代表 斎藤秀昭(新任)

総務 田中和夫(留任、3期目)、角中雅洋(新任)

企画 久保田瑛子(留任、2期目)、北川朝生(新任)、坂本洋典(新任)

会計 藤塚 弘(新任)、井上孝美(新任)

編集 羽鳥信義(留任、2期目)、内田脩太(新任)

IT 中村 清(留任、2期目)

育成企画 小柴清之(新任)、福田晴男(新任)

監査 雨宮範正(留任、3期目)、渡辺 隆(新任)

相談役 早坂弘次(留任、3期目)、宮崎茂穂(新任)、仲西周二(新任)

なお、松田邦雄前代表はリハビリ治療のため退任されますので、これまでのグループ多摩虫に対する多大な貢献に対して敬意を表し、名誉会員に推薦され、総会で承認されました。

*総会にて、会則の改定案が承認されました。詳細は、会員専用HPを参照してください。

1. 8条に(名誉会員)を設け松田代表を名誉会員とする件。

2. 23条に育成企画幹事を設ける件。当会の中心的活動の一つとして若手の会員、昆虫少年・少女の育成があり、そのための企画担当幹事を小柴氏、福田氏にお願いする。

2. 「会誌64号の件」

皆様のご協力をもって会誌 多摩虫64号(特別号)が予定通り完成し、総会にて配布いたしました。当日、出席されなかった方へは、ヤマトメール便(ポストへの投函)にて発送致しましたのでご査収ください。執筆頂いた方へは2冊お送りしております。

まだ受け取られていない方が居られましたら、幹事まで連絡下さい。(編集幹事：羽鳥信義)

3. 「2015年度の会費」

2015年度の会費を未納入の方は、急ぎ納入して下さるよう、お願いします。

・会費 一般会員：4,000円、 高校生以下：1,000円

・送金先 ゆうちょ振替口座：00180-0-67713 グループ多摩虫

ゆうちょ口座に送金していただいた場合は、ゆうちょ側で納入記録を送付してくれますので、会計上の記録保持のためには非常に有効です。 会計業務の効率化及び間違いをなくすため、納入はできるだけゆうちょ振替口座をお願いします。 (会計幹事)

4. 「会員専用ホームページ」

4月1日から会員専用ホームページのID/PWが変更されました。新規ID/PWは、新年度会費を納入されている方のみにお送りしています。会費を納入しているのに新規ID/PWが届いていない方がいましたら、連絡ください。(IT幹事 patapata@millionlovers.com)

5. 「新入会員の紹介」 : 遅くなりましたが、未紹介の方々の紹介です。

池田真一郎 (イケダ シンイチロウ) : E-Mail: ikeshin621@ezweb.ne.jp

住所: 〒335-0025 埼玉県戸田市本町 4-5-4-201

井上孝美 (イノウエ タカヨシ) : E-Mail: t-inoue@piano.ocn.ne.jp

住所: 〒224-0001 神奈川県横浜市都筑区中川 1-2-A1203

下田範夫 (シモダ ノリオ) : E-Mail: n.shimoda.tefu@k5.dion.ne.jp

住所: 〒359-0042 埼玉県所沢市並木 3-1-4-206

鈴木陽花 (スズキ ハルカ) : E-Mail: fishfreshrefresh86@yahoo.co.jp

住所: 〒187-0043 東京都小平市学園東町 2-11-18 つばさ荘 201

増井暁夫 (マスuiaキオ) : E-Mail: masui@af-info.or.jp

住所: 〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 2-13-9-404

右田陽 (ミギタ ハル) : E-Mail: keroaroharu@yahoo.co.jp

住所: 〒188-0011 東京都西東京市田無町 4-11-7-602

6. 「新着交換会誌」

下記の交換会誌が送られてきています。4月例会で回覧します。

尚、今回回覧する図書も貸し出し対象と致しますので、ご活用下さい。

1. 甲州昆虫同好会 山梨の昆虫 No. 55
2. 毛野・秩父虫の会 かみつけ No. 8
3. 神奈川昆虫談話会 神奈川虫報 No. 185
4. 同上 花蝶風月 160
5. 相模の蝶を語る会 相模の記録蝶 No. 29
6. 山陰むしの会 すかしば No. 62
7. 同上 いずも虫だより No. 115

【記念講演 概要】

総会に引き続き、休憩後10:45より福田晴男会員による講演「蝶好きを育てる4段階」が動画映像も交えて興味深くプレゼンテーションされた。

先ず学校の理科の事業で本物の標本や生き虫を見せて興味を持たせる。学校長の理解を得て全員参加の「展翅」を授業に取り入れる。野外に連れ出し蝶の採集会を開催する。親も関心を持つ。好きになった子供の採集会を開催する。

ここまでくれば昆虫少年・少女になり、男女を問わず子供を蝶好きにするには9歳が適齢。

【懇親会 概要】

講演後、12:30から「はなの舞」吉祥寺店にて懇親会が行われました。乾杯は小柴幹事、中締めは早坂相談役、司会は渡辺監査役。懇親会参加者は41名でした。

記念講演 「蝶好きを育てる4段階」

2015.3.8



演者の福田晴男さん



記念講演の風景



乾杯の音頭、小柴清之さん



懇親会の風景



三次会の風景